

固体廃棄物貯蔵庫第11棟の建築準備工事着手

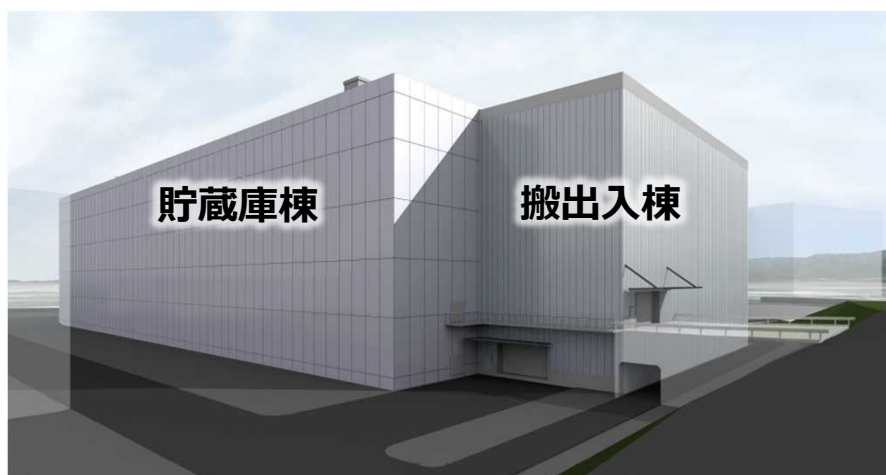
2025年9月25日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

固体廃棄物貯蔵庫第11棟 施設概要

- 固体廃棄物貯蔵庫第11棟には、廃炉作業にて発生した瓦礫類、放射性固体廃棄物（焼却設備より発生する焼却灰等）について、容器に収納した状態で一時保管する。
- 固体廃棄物貯蔵庫第11棟は廃棄物を保管する「貯蔵庫棟」と貯蔵庫棟への運搬を行うスロープを設けた「搬出入棟」で構成する。



貯蔵庫棟 建物諸元

構造種別	貯蔵庫棟：SC構造（鋼板コンクリート構造） （搬出入棟：S造（鉄骨造））
建築面積	約10,700㎡ （約127m(南北) × 約84m(東西)）
貯蔵階	地下1階＋地上5階
建物高さ	地上 約33m
保管容量	約11.5万m ³



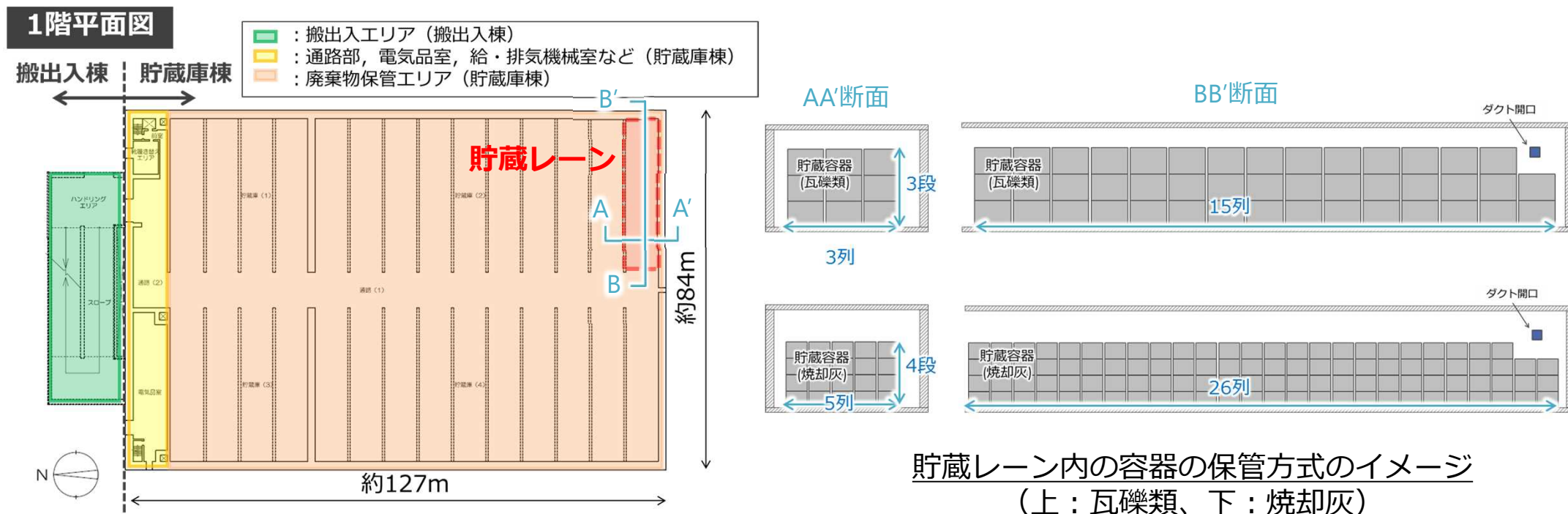
固体廃棄物貯蔵庫第11棟 保管計画

<保管対象物>

- 廃炉作業により発生する瓦礫類を、材質により可能な限り分別し、容器収納して保管。
雑固体廃棄物焼却設備、増設雑固体廃棄物焼却設備より発生する焼却灰を容器収納して保管。

<保管方式>

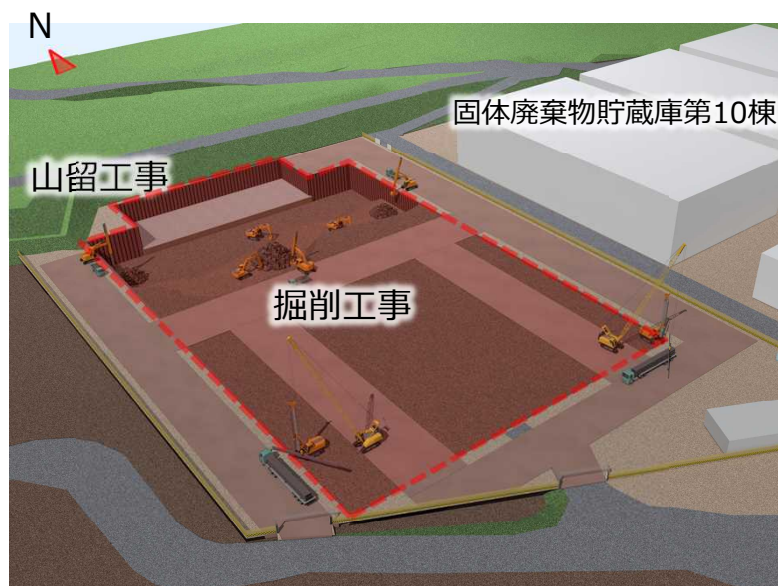
- 地下1階・地上1階に高線量廃棄物（表面線量率1mSv/h超）、地上2～5階に低線量廃棄物（表面線量率1mSv/h以下）を保管。
- 貯蔵庫棟はレーン構造となっており、貯蔵容器は段積みで保管。



工事概要（建築準備工事）

- 建築準備工事では、建物の基礎コンクリート工事に先立ち、建物基礎下（深さ約10m）までの掘削工事を計画している。
- 2025年10月初旬より準備が整い次第、山留工事^(※)に着手し、2026年度上期に予定している建物本体工事に向けて建築準備工事を進めていく。

(※) 掘削作業時に周辺の地盤が崩れないよう、支えとなる鋼製壁を設置する工事



建築準備工事（山留・掘削工事等）イメージ

- 2025.8.8 実施計画変更申請（済）
- 2025年10月初旬 建築準備工事（山留、掘削工事等）着手予定
- 2026年度上期 建屋基礎工事着手予定
- 2027年度以降 一部運用開始予定

<一部運用開始の計画について>

早期の固体廃棄物の屋外一時保管解消に向けて、建屋の一部を先行して運用開始する計画。

 : 先行して一部運用開始するエリア（案）

※ 一部運用開始の時期・範囲については詳細検討中

 : 搬出入エリア（搬出入棟）
 : 通路部、電気品室、給・排気機械室など（貯蔵庫棟）
 : 廃棄物保管エリア（貯蔵庫棟）

